

第10回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

予防保全に関する検討委員会

議事概要

■ 第10回検討会：令和7年3月27日（木）

【議 題】

- ・ 耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について
- ・ 効率的な点検・診断技術について
- ・ 効果的な補修技術について

【議事概要】

- 事務局よりロードマップの見直しについて提案し、質疑応答を行った。また、今年度の現場実証の実施結果や舗装点検でのAI活用の試行、常温合材の客観的な評価方法について報告し、質疑応答を行った。議事内容は以下の通りである。

◇ 耐久性の高い舗装を設計・施工する技術について

- 水平振動ローラについては、今回の結果を活かし台数を確保したうえで、また来年度試験施工を行いたい。大学の研究で使っている機械も使って協力して一緒にやれば良いかと思う。
- 今施工した技術は、施工した会社で調査を続けていくことが重要。
- 「断熱工法を用いた既設アスファルト舗装の凍上対策に関する設計・施工マニュアル（案）」は市町村に向けたマニュアルになると思う。非常に効果があるのではないかと期待している。

◇ 効率的な点検・診断技術について

- わだち掘れを測る3次元路面測定を応用すれば、段差とか目に見えないゆがみも拾える。舗装だけに限らず、歩行者や自転車ユーザーのため、そういったところにも使っていけると良い。

◇ 効果的な補修技術について

- 低温カンタブロ（5℃）試験を行うときに、本当に固まるのか、固まらないのか、みたいなものが評価出来れば良いと思う。
- 試験を続けていただいて、良いものにしていきたい

以上